

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票					No.	30-005		
PDCA	事務事業名	企画展開催事業（博物館本館）	部課等名	教育部 博物館	担当	秋山		
					内線等	23-7173		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： （2）文化の振興 個別施策： ②博物館の活用						
	根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例施行規則						
	対象・目的	企画展等で貴重な資料や文化活動を紹介することで、来館者の生涯学習の推進を図るとともに、郷土文化への愛着を深め、地域文化の向上に努める。						
	目的を達成するための手段・活動内容	他館から貴重な資料を借用し展示する企画展、及び当館の収蔵資料を一つのテーマに沿って展示する館蔵品展等を開催する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①企画展の開催回数		6	6	4	回	
		②企画展の開催日数		189	173	204	日	
		事業費		1,982	1,763	868	千円	
		人件費		9,624	8,898	8,219	千円	
		総事業費		11,606	10,661	9,087	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①開催期間内入館者数1人当たりのコスト		216	207	227	円		
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①企画展開催期間内入館者数	実績値	53,836	51,450	40,082	人	
			目標値	55,000	55,000	55,000		
			実績値					
			目標値					
		実績値						
		目標値						
C 課題の整理		観点別評価	必要性		有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある			
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—		
	事業の評価・課題	B						
		新型コロナウイルス感染症の影響により「第35回知多工芸展」、企画展「知多半島の化石」、「博物館友の会合同展」が中止となった。コロナ禍で他館から資料の借用ができなくなったため、当館の美術品収蔵資料を活用し、絵画や工芸品の館蔵品展を開催した。また、長年にわたり知多工芸展に出品して下さった作家の遺作展を開催したり、常設展示室や受付前でミニ展示を開催するなど、コロナ禍でも展示を通して地域の自然や歴史、芸術などを紹介した。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進						
		地域博物館の特性と学芸員の専門性を活かし、資料を通じて地域の自然や歴史、民俗、芸術等について学ぶ機会を提供する。展示の内容を充実させるとともに、講演会や博物館講座などの関連イベントを充実させることで来館者の興味関心を高め、生涯学習の推進と来館者の増加を図る。また、資料の借用が難しい状況においても充実した展示が開催できるよう、収蔵資料の整理・調査研究を積極的に進めていく。						
	令和3年度の目標	成果指標		目標値		単位		
		①企画展開催期間内入館者数		55,000		人		